

つくば日中協会活動報告(令和元年度)

2020年6月14日

1. 総会

第27回総会は、つくば日中協会役員、中国語講座講師、つくば日中協会会員約25名の参加をもって、平成31年(2019年)4月6日午前11時から12時まで小野川交流センターで開催しました。来賓として、国際交流室の村山えりか室長と筑波大学中国人留学生学友会の彭齐家会長のご臨席とご挨拶を頂きました。唐会長は、市役所国際交流室長の来席の案内と発足当時の歴史の紹介、現状と問題点並びに今後の展望について、その挨拶のなかで協会の存在意義、さらに活動を通じての社会貢献について強調しました。

杜幹事長による平成30年度の活動について、概要を説明しました。また各事業についての反省点や問題点及び対策について補足しました。特に当協会25周年記念及び日中平和友好条約40周年の節目の記念行事として行った「つくば日中フォーラム」については丁寧に説明しました。年度途中で会計役員の交代があったことから、杜幹事長より平成30年度の会計報告がなされ、厳会計監査より「会計監査の結果会計処理に問題が無い」ことが報告されました。飯田事務局長より「会則改正」について、平成30年度は、会長が新任であったため会の運営、活動について、創始会長から助言や支援が必要であったが、平成31年度以降その必要を求めない事から、創始会長の条項を削除することを説明した。次に、杜幹事長による平成30年度の活動計画(案)、厳幹事による平成30年度予算(案)の説明がありました。これらの活動報告、会則改正案、会計報告、会計監査報告、および今後の活動計画案、予算案はすべて出席者の多数の拍手をもって承認されました。

なお、総会后、反町の森公園で桜の花見をし、親睦を深めました。

2. 中国語講座

中国語講座の開講式は、平成31年(2019年)4月6日午前10時から10時50分まで小野川交流センターで開催しました。今年度の講師陣は筑波大学中国留学生学友会関玲会長をはじめ、5名の留学生からなります。唐会長は中国語の授業に励んだ経験談を紹介しました。その後各コースに分かれ、講師を中心に、授業のオリエンテーションを行いました。各コースの講師は、張黎明(入門)、張博輝(基礎)、関玲(中級)、李昂(文化)、封雨舟(代講)の5名留学生が担当しました。

講座は、平成30年4月6日開始、令和2年3月23日終了までの間に計40回開催されました。

予定していた中国語講座の終了パーティーは、新型コロナウイルス感染症拡散防止の点から中止しました。後日、担当講師には、感謝の気持ちと今後のご活躍を祈るために、記念品を贈呈いたしました。

3. 日本料理講習会

日本料理講習会を令和1年6月22日(土)に開催しました。参加者は、受講生と会員14名、留学生22名、役員7名、ゲスト1名、計44名でした。料理のメニューは、太巻き、肉じゃが、白玉フルーツでした。唐会長の挨拶後、市国際交流室村山室長、留学生会の会長からご挨拶をいただきました。その後全員で後片付けをして、最後に記念写真を撮り、終了となりました。

4. 中国への交流旅行

日中文化交流のため、唐莉莉団長として『つくば日中交流団』は総勢10名で令和1年9月15から20日まで中国成都市を訪問しました。主に成都市の郫都区のある地域交流センターである市民組織と交流し、また『创智e站』で、日本語を学んでいる人たち日本語同好会と交流し、協会から日本製の漆器を贈呈しました。同好会からは中国四大名著を記念品として恵与にあずかりました。その後、郫都区政府を表敬訪問し、政府役員、投資局、商務局、国際交流部の責任者とその職員たち、さらに地元テレビ局や地元紙の記者やサービス員等々50人と交流会を開き、唐莉莉会長によるつくば日中協会を紹介しました。そして協会から郫都区政府へのつくば市五十嵐立青市長の親書を手交し、続いて監査の曾継業氏の作品である「筑波山の絵画」を贈呈しました。郫都区政府からはパンダのある「蜀繡」の記念品をいただきました。さらに、翌日の見学用のバスを提供していただきました。市内観光(電子科技博物館、都江堰、三星堆博物館、パンダ基地、金沙遺跡博物館など)ができて、単なる観光旅行では味わえない生の中国を体験することができました。

5. 筑波山登山

令和1年10月19日(土)に恒例の筑波山登山を予定したが、台風の影響による倒木のために、登山道「御幸ヶ原コース」が通行止めになり、やむを得ず、今年度の登山活動を中止しました。

6. 年忘れ日中交歓会

恒例の「年忘れ日中交歓会」を令和1年(2019年)12月7日(土)に「ゆかりの森・老人福祉センターとよさと」で開催しました。

当日、午前9時から会員と筑波大学留学生30名と参加者たち約65名が和気あいあいと水餃子作りに励みました。水餃子の他に、川村幹事が自宅で準備してきた鶏の照り焼きやお汁粉や、会場で作ったおにぎり、さらに巖幹事と楊会員が自宅で準備してきた温泉卵や中華サラダも揃い、お昼の時間には全員で盛りだくさんの料理を食べながら交流を深めました。

余興に入ると、会員と留学生たちの歌の披露と楽器演奏があり、その後のビンゴゲームなどにより会場は盛り上がりました。

名誉会長の五十嵐立青つくば市長が出席し、参加者と一緒に餃子を作り、その後、温かいお言葉を頂戴しました。

7. 中国料理講習会

予定していた令和2年1月19日中国料理講習会を開催しました。筑波大学中国人留学生、日中協会会員、役員など36名が参加しました。中国の家庭で普通に食べている肉料理、野菜料理、スープ、デザートなどで、蒜泥白肉(豚肉料理)、葱爆羊肉(ラム肉料理)、黄焖鸡(鶏モモ肉料理)、枣糕(枣ケーキ)、蒜茸香菇油菜(椎茸と青梗菜のニンニク炒め)、蕃茄鸡蛋汤(トマトと卵のスープ)など6品目を作りました。唐莉莉会長の挨拶、続いて留学生代表の高明さんの挨拶の後、食事としました。食事の途中、つくば市国際交流課の室長代理の相馬さんがお見えになり、挨拶を頂きました。参加者の一人からは「どの料理も美味しく、思っていたより辛くなく、どこか懐かしい味がした」と高い評価を頂きました。

8. つくば日中協会のNPO化

つくば日中協会は、これまで28年間もボランティア活動をしてきました。任意団体であったため様々な活動の限界が判明するに至ったことから特定非営利活動法人化することとしました。第一回目の役員会から、今後の活動の幅を一層広げるため(例えば、技術のある定年退職者の人材交流・活用)、協会をNPO化する案が提示されました。NPOにした場合の利点・欠点を調査し、議論してきました。その後、唐会長、杜幹事長、由布役員、巖役員で組成する特別委員会で資料を検討・作成し、役員会で議論を尽くし、年度内に特定非営利活動法人の申請をしました。本年5月22日に特定非営利活動法人つくば日中協会が成立しました。

9. つくば日中協会ホームページと会報

つくば日中協会のホームページ(<https://sites.google.com/site/tsukubarizhongxiehui/>)を随時更新し、内容を充実させました。

10. その他(2019年度事務局日誌)

- 4月6日 第23回中国語講座開講式、第27回総会
- 4月8日 中国語講座開始
- 4月18日 第1回役員会(中国語講座、役員分担など)
- 4月21日 第1回TV会議
- 4月26日 ボランティア総会(つくば市役所ー由布)
- 6月14日 第2回役員会(法人化、成都訪問、中国語講座など)
- 6月22日 日本料理講習会(小野川交流センター、太巻き寿司、肉じゃが、白玉フルーツ、44人参加、来賓村山国際交流室長)
- 6月29日 授業研究会、その後青木氏と懇談(TV会議、成都旅行)
- 7月14日 第2回TV会議

- 8月20日 第3回役員会(成都旅行日程、中国語講座、NPO 法人化など)
- 9月03日 成都旅行打ち合わせ(10名参加)
- 9月06日 ボランティア団体活動費助成交付決定通知書受領(交付金 34,000 円決定)
- 9月14日 「アイラブつくばまちづくり実践団体証」交付される(杜等 2 名)
- 9月15日～20日 成都旅行
- 9月15日 成都空港到着、「杜甫草堂」。
- 9月16日 郫都政府で交流会議、『创智 e 站』、戦旗村。
- 9月17日 科学技術博物館、都江堰。
- 9月18日 パンダ基地、三星堆遺跡博物館。
- 9月19日 金沙遺跡博物館、成都市内観光－武侯祠、宽窄巷子。
- 9月20日 市内散策、帰国。
- 10月16日 筑波山登山中止決定(10月19日予定も台風19号襲来により)
- 10月21日 令和元年度歳末たすけあい事業助成決定通知書受領(交付金 50,00 円決定)
- 10月25日 第4回役員会(成都旅行、筑波山登山中止、忘年会、NPO 法人化など)。
- 11月09日 成都交流団終了打ち合わせ。
- 12月07日 日中年忘れ交歓会、第5回役員会(今後の行事等)
- 1月11日 筑波大学中国人留学生学友会春節パーティー(出席-杜等 4 名)
- 1月19日 中国料理講習会(小野川交流センター)
- 3月08日 第6回役員会(中国語講座等)
- 3月31日 第7回役員会(中国語講座募集状況、総会、講座開講式の延期等、
優秀な役員(川村路子、巖康敏)表彰と張黎明講師及び卒業講師の感謝状

以上